

令和5年度 京都大学一般選抜 出題意図等

数 学 (理系)

- ・「出題意図等」とは、出題意図または標準的な解答例のことです。
- ・入学試験問題の満点や配点については、試験問題に記載のとおりです。
- ・各学部における個別学力検査の配点については、一般選抜学生募集要項に記載のとおりです。
- ・標準的な解答例については、ここに示す表記に限るものではありません。
- ・「出題意図等」についての質問および問い合わせには対応いたしません。

令和 5 年度京都大学一般選抜 出題意図等 数学（理系）

京都大学の個別学力検査「数学（理系）」では、論理性、計算力、数学的な直感、数学的な表現といった数学に関する多様な基礎学力を総合的に評価することを念頭において出題しています。このため論証問題はもちろんのこと、値を求める「求値問題」でも答えに至る論理的な道筋も計れるように出題しています。また証明や論理的な道筋の説明については、必要条件や十分条件に配慮した適切な表現で解答されているかどうかを見るように、出題の形式や問い方を工夫しています。

以上の全体的な出題意図の下で、令和 5 年度の出題では、以下のような観点から出題しています。

理系 1

問 1. 数学 III で学習する定積分に関し、基礎的な理解と計算力について問うた。

問 2. 整式の割り算に関する基礎的な理解について問うた。

理系 2

空間図形と空間ベクトルに関する基礎的な理解と計算力について問うた。

理系 3

確率の基本的な理解と余事象を用いた確率の計算について、計算方法を適切に説明して確率の計算が行なえるかどうかを問うた。

理系 4

数学 III で学習する微分法を利用して、論証を伴って最大値と最小値の求値ができるかどうかの論理力と計算力を問うた。

理系 5

回転体の体積を題材として、式から空間図形を的確に把握する力と体積を求めるための正確な計算力について問うた。

理系 6

三角関数と整数を題材として、正しく推論をしてそれを的確に記述する力を問うた。